

---

# 移動式処理事業等

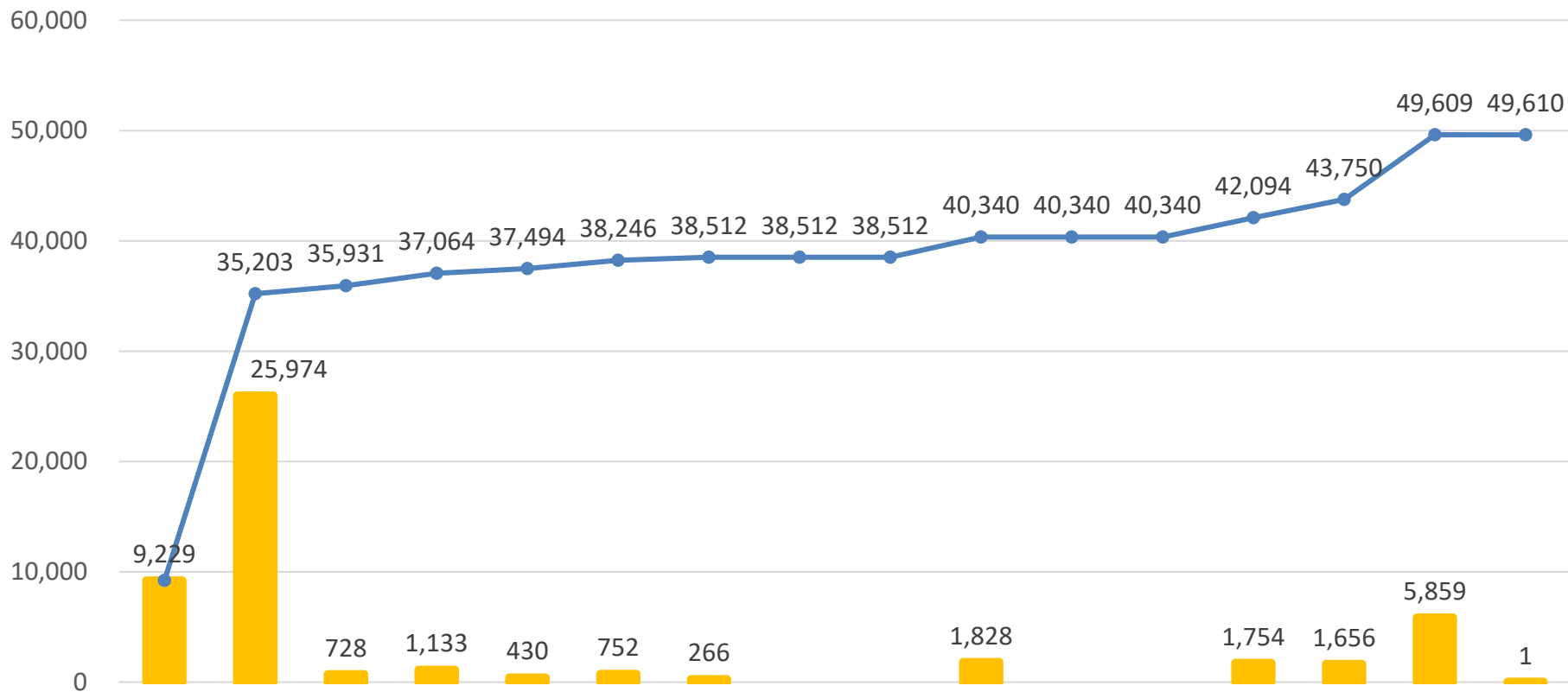
---

# 2. 移動式処理事業等

## (1) 廃棄処理数の推移 (実績)

【単位：発】

(2026(令和8)年3月現在)



年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
各年度 廃棄処理数	9,229	25,974	728	1,133	430	752	266	0	0	1,828	0	0	1,754	1,656	5,859	1
累計 廃棄処理数	9,229	35,203	35,931	37,064	37,494	38,246	38,512	38,512	38,512	40,340	40,340	40,340	42,094	43,750	49,609	49,610

## (2) 移動式処理設備の展開 (高機動型での処理実績等)

※2027年までに処理予定のもの



# (3) ハルビン事業

## 【経緯等】

- 2019(令和元)年度に制御爆破処理設備による廃棄処理を開始し、1,828発の廃棄処理を実施
- 2020(令和2)年度及び2021(令和3)年度は、コロナの影響を受け事業を休止
- 2022(令和4)年度に事業を再開し、1,754発の廃棄処理を実施
- 2023(令和5)年度は1,656発の廃棄処理を実施
- 2024(令和6)年度は2,141発の廃棄処理を実施、制御爆破処理設備での廃棄処理事業は終了

## 【今後の予定等】

- 2026(令和8)年度は、高機動型処理設備を展開に向け、既存設備の解体作業を完了予定。
- 廃棄計画を踏まえ、現在ハルビン保管庫に保管されている現行廃棄計画の対象である遺棄化学兵器について、高機動型処理設備で2027年中に廃棄を完了する予定。

ハルビン処理場全景



制御爆破式チャンバー



設備収納庫



2026年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
廃棄処理事業	←			解体 (制御爆破処理設備)	設備組立 (高機動型処理設備)	←			砲弾等処理	→		

# (4) 武漢事業

## 【経緯・進捗状況】

- 2018(平成30)年度、高機動型移動式処理設備の導入を開始
- 2023(令和5)年度、武漢に廃棄処理設備を設置
- 2024(令和6)年度～2025(令和7)年度、武漢において3,719発の廃棄処理を実施



## 【今後の予定等】

- 廃棄計画を踏まえ、武漢での廃棄処理完了後、太原及びハルビンの処理場において事業を実施。
- 2026年後半にハルビンにおいて事業開始予定。
- 太原では、2026年度、事前準備を実施予定。



2026年度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(武漢) 設備解体		(ハルビン)	← 設備組立	←	←	←	←	←	←	←	←
(太原)					事前準備						
						砲弾等処理					

# (5) -1 遼源事業

## 【経緯等】

- 1970年代初頭、大量(74トン)の化学剤が石灰と混ぜられた状態で2基の貯液槽に貯蔵された
- 2011(平成23)年度、外務省調査の結果、旧日本軍の遺棄化学兵器としてOPCWに申告
- 2017(平成29)年度から内閣府による調査を開始(保管庫周辺の状況調査、土量調査)
- 2022(令和4)年2-3月に貯液槽内の内容物の詳細調査を実施
- 2023(令和5)年度は貯液槽上部の覆土の除去作業及び追加詳細調査を実施
- 2024(令和6)年度に、回収技術及び廃棄処理技術・設備を選定。現地では覆土整備作業等を実施。
- 2025(令和7)年度は保管庫内に回収設備を設置する工事、エリア内の整地等の準備工事を実施。

## 【進捗状況・今後の予定等】

- 2026年度は年内の回収事業開始に向け、準備工事を実施。

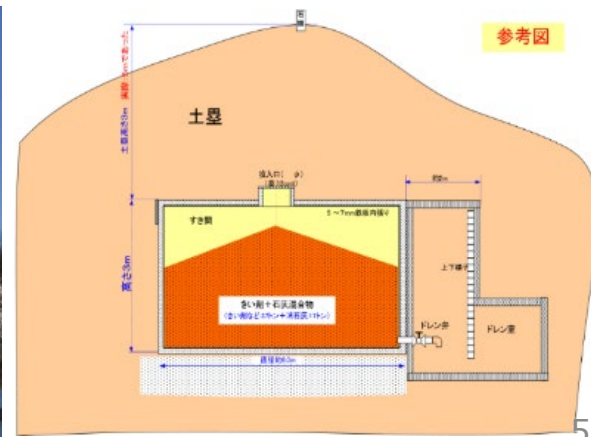
遼源の位置



保管庫(テント)の外観



地下貯液槽(参考図)



# (5) -2 遼源事業

## 【準備工事等の作業状況】

保管庫内の覆土掘削



保管庫内の型枠組立



廃棄物保管



廃棄物の詰入れ



場内整地



施工用材料の確認



## (6) 砲弾輸送

各地で回収された遺棄化学兵器を、廃棄処理のため処理場・保管庫等に輸送し集約する

○ 2025(令和7)年度実績

6～7月、北安⇒ハルビンへの砲弾輸送を実施

7月及び9月、牡丹江⇒ハルバ嶺への砲弾輸送を実施

○ 2026(令和8)年度(予定)

・7月、牡丹江⇒ハルバ嶺

・10月～12月、北安⇒ハルビン、  
牡丹江、集安、琿春⇒ハルバ嶺  
それぞれの砲弾輸送を実施

耐爆チャンバー車両



砲弾輸送の車列イメージ



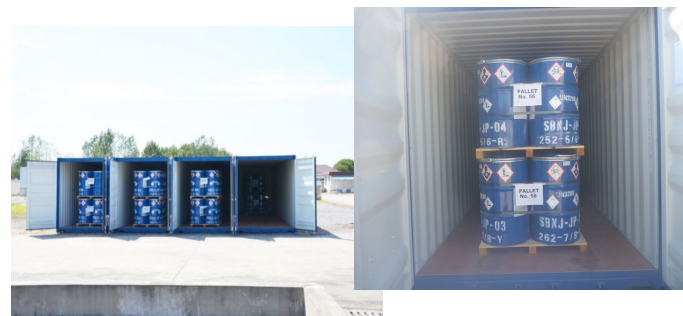
## (7) 廃棄物輸送（最終処分）

### 廃棄物のパイロット輸送

- 南京における廃棄処理事業によって発生し、南京保管庫に保管中の廃棄物約20トン、ドイツの処分場に試験的に輸送し、最終処分。廃棄物の国際移動に関する条約及び中国・ドイツの国内法に従い輸出入手続を行い、2023(令和5)年度に事業完了。
- 今後、北部(ハルバ嶺)、武漢・太原で発生する廃棄物について、北部、武漢・太原の順で同様の事業を実施する方向で調整中。



燃焼処理された砲弾残渣、焼却灰



輸送梱包済み廃棄物(南京保管庫)